

# 第 1 章 調査の概要

## 1 調査の目的

平成 22 年 4 月 1 日に施行された「子ども・若者育成支援推進法」(以下「子若法」という。)  
第 19 条において、「地方公共団体は、関係機関等が行う支援を適切に組み合わせることによりその効果的かつ円滑な実施を図るため、単独で又は共同して、関係機関等により構成される子ども・若者支援地域協議会を置くよう努めるものとする」とされた。

その後、全国各地において、子ども・若者支援地域協議会(以下「子若協議会」という。)の設置の取組、運営の工夫が行われてきたところである。

しかしながら、令和元年度に行われた行政事業レビュー公開プロセスでは、「(内閣府において)各地域協議会の活動実態の把握がなされていない印象を受ける」との評価がなされ、実態を把握し、必要に応じて抜本的な改善を図ることが求められた。

これらを踏まえ、各子若協議会の活動実態や設置・運営上の課題等を把握し、課題の解決法や充実化の方策を考察、提言するとともに、事例の共有も含め、他の地域において参考とし、横展開や発展につなげていける資料を作成し、共有することを目的とする。

また、本調査結果を活用して、「子ども・若者支援地域協議会設置・運営指針」(平成 22 年 2 月 23 日内閣府政策統括官(共生社会政策担当)決定)を改訂する。

## 2 調査の全体像

子若協議会の実態について調査するに当たり、以下のプロセスを経た。

まず、各地の子若協議会における困難を有する子供・若者に対する支援の事例等をヒアリング調査するに当たり、ヒアリング項目の検討を行った。様々な理由（必要性の認識不足、予算・人員上の課題等）により子若協議会設置に至らない地方公共団体や、設置はしたものの形骸化するなどして十分に機能していない地方公共団体に対して、単なる調査結果の共有にとどまらない具体的な提言を行う調査とするため、好事例のみならず困難事例も引き出す狙いでヒアリング項目を設定した。

次に、ヒアリングの対象となる地方公共団体については、今後の子若協議会設置促進につながるよう、立ち上げのプロセス、運営状況等を勘案し、選定した。

ヒアリングの実施に当たっては、コロナ禍を踏まえ、オンライン方式で地方公共団体へのヒアリング及び関係者間でディスカッションを行った。

これらヒアリングで得た子若協議会に係る指摘や課題について、分析・考察等を行い、報告書を取りまとめた。

また、上記調査全般については、子若協議会制度等に精通している有識者 1 名に参画していただいた。

### 3 調査の実施内容

#### (1) 調査方法

内閣府でヒアリング調査項目及びヒアリング実施先の地方公共団体を検討・選定



事前にヒアリング対象とする地方公共団体にヒアリング調査事項を告知



コロナ禍を踏まえ、オンライン方式によりヒアリングを実施



ヒアリング結果を踏まえた分析・考察、報告書の作成

#### (2) 調査対象とする地方公共団体

今後の子若協議会設置促進につながるよう、立ち上げのプロセス、運営状況等を勘案し、ヒアリング調査対象とする地方公共団体を選定した。選定地域数は、都道府県 2、市区町村 3 とした。選定地方公共団体及び選定理由は、以下のとおり。

#### < 選定地方公共団体及び選定理由 >

##### **都道府県**

##### **岩手県**

東日本地域は西日本に比べて全般的に基礎自治体の子若協議会設置が進んでいないところ、岩手県は令和元年度の「子ども・若者支援地域ネットワーク強化推進事業」（以下「ネットワーク事業」という。）に東北 6 県の中で唯一選定され、研修会を実施するなど、管下基礎自治体の子若協議会の設置促進に向けて一定の活動をしていることから、調査を行うことにより今後の東日本地域の子若協議会の設置促進に資することが期待できる。

##### **岡山県**

管下の津山市は平成 30 年 11 月に子若協議会及び子ども・若者総合相談センター（以下「子若センター」という。）を同時に立ち上げ、岡山市（政令市）も近日子若協議会設置に進むことが見込まれている。県として管下基礎自治体への説明や働きかけなど普及啓発に熱心であり、成果を上げている。なお、子若協議会を設置予定である岡山市の現在の取組や県との連携状況についてもヒアリングを行うことで有益な情報が得られると考える。

## **基礎自治体**

### **岩手県盛岡市**

岩手県下市町村に子若協議会は未設置のところ、盛岡市は既存のネットワーク組織に協議会機能を組み込めないか検討中とのことから、ヒアリングにより基礎自治体における子若協議会を設置する上での課題等の把握が可能になる。

### **岡山県津山市**

県等の関係機関と連携し、平成 29 年に津山市子ども・若者支援庁内推進会議を設置した上で、平成 30 年 11 月に子若協議会・子若センターを同時に立ち上げた。

設置からの期間がまだ浅い子若協議会の実情や課題の把握、県との連携の両面で参考になり得る。

### **岡山県勝央町**

平成 30 年度からネットワーク事業に毎年選定されるなど、人口約 1 万人の小規模な基礎自治体において活発に活動している好例であり、「立ち上げまでのプロセス」、「立ち上げ後の状態（子若協議会・窓口が機能している状態）」の両面で参考になり得る。

## **（３）調査協力者（有識者）**

今回のヒアリング項目・調査対象地方公共団体の検討、ヒアリング実施及び報告書取りまとめ等に当たっては、田中成幸（たなか・まさゆき）氏（合同会社 Co-Work-A 代表社員、特定非営利活動法人育て上げネットパートナー等）に協力いただいた。

同氏は、内閣府の子若協議会の設置・運営モデル事業の実施当時から関与され、現在は、ネットワーク事業において、数多くの地方公共団体から講習会等の講師として招へいされており、各地の子若協議会や子若センターの事情にも精通している。

## 4 調査結果の概要

当初、地方公共団体に対するヒアリング調査は、現地視察等を含めた対面式のヒアリングを予定していたが、コロナ禍により、現地での調査実施が実施困難になったため、オンライン形式で実施した。

ヒアリング実施先の地方公共団体から得られた現場の生の声は、他の地方公共団体における子若協議会の設置・運営に際して、大いに参考になり活用できるものであると考える。

ヒアリング調査の概要は以下のとおりである。

### (1) 第1回ヒアリング

調査対象地方公共団体

岡山県、岡山県津山市、岡山県勝央町

日時等

令和3年3月9日(火) 13時～15時      オンライン形式

出席者

(地方公共団体)

- ・岡山県県民生活部男女共同参画青少年課青少年班
- ・津山市教育委員会次世代育成課
- ・勝央町教育委員会教育振興部

(有識者)      敬称略

- ・合同会社 Co-Work-A 代表社員、特定非営利活動法人育て上げネットパートナー等  
田中 成幸

(内閣府)

- ・政策統括官(政策調整担当)付参事官(青少年支援担当)付

ヒアリング項目及び回答

#### ●岡山県

| 項目                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------|
| 管下市町村への子若協議会の設置推進に向けて都道府県が現在行っている取組・工夫                                          |
| ・県が設置している子若センターのケースについて、住所地である市町村と連携してケース会議を行い、仮想協議会として子若協議会の仕組み等を体験してもらう事業を実施。 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村訪問を行う際、青少年育成担当課(生涯学習主管課)だけでなく、保健福祉部局にも出席してもらい、部局間の情報交換の場としても活用する。</li> <li>・国のネットワーク事業を活用し、市町村担当者を対象とした模擬ケース会議やワークショップ、先進市町村の事例紹介など、連携した支援の在り方について学ぶ機会を設けた。</li> </ul>                                                                                                              |
| <b>項目</b><br><b>管下市町村での子若協議会の設置促進に当たっての国への要望・意見</b>                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・数多くの協議会がある中で、予算面でメリットがない子若協議会は検討すらされていない場合が多い。</li> <li>・スーパーバイズの派遣を要望。人選を地方公共団体任せにするのではなく、個々の地方公共団体の困りごとに合わせて講師を選べる一覧があってほしい。</li> <li>・児童福祉の 18 歳の壁、子若施策の 39 歳の壁を低くするよう、地方公共団体任せではなく省庁レベルで調整してほしい。</li> </ul>                                                                        |
| <b>項目</b><br><b>他の都道府県の子若協議会との情報交換の有無やその内容</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>項目</b><br><b>岡山県における、管下政令指定都市（岡山市）の子若協議会設置に向けた連携に関する取組・工夫</b>                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の青少年総合相談センターに寄せられる相談の大半が岡山市在住。ケースを共有し、仮想協議会として、民間支援機関も交えてケース会議・支援に取り組むとともに、今まで県の子若センターが行った支援についてレクを行った（今後の支援の在り方についてイメージしてもらうため）。</li> <li>・定期的開催される市の会議に出席し、オブザーバーとして参加した。</li> <li>・市民との協働事業として複数の NPO と一緒にモデル事業を実施(令和元年度～2 年度)。実際に支援を行いながら、より市の実態に合った枠組みを作り上げることができている。</li> </ul> |
| <b>項目</b><br><b>子若協議会設置に関心が薄い管下市町村があるとするなら、その理由や障害は何があると考えるか</b>                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山市・倉敷市以外の 22 市町村は、民間の支援団体が少なく、行政のみの場合が多い。守秘義務は当然のことなので、子若協議会のメリットが感じられない。</li> <li>・予算面でのメリットが全くない。</li> <li>・規模が小さい地方公共団体の場合、担当課・担当者同士繋がっており、個々のケースの共有もできている。子若協議会を設置し、調整機関を定めることがデメリットと感じられている。</li> </ul>                                                                          |

- ・福祉関係部局の連携はできている地方公共団体は多い。教育委員会との連携が大きな壁（子若協議会はその壁を自力で取らなければならないが、その余力はない）。
- ・制度自体の理解が得られない場合が多い。要保護児童対策地域協議会や貧困対策、ひきこもり対策等との関係が曖昧。
- ・支援を必要としている様々な市民がいる中で、家にいて（外で害をなすわけではない）、養ってくれる親がいて（今すぐ生活が困るわけではない）、本人からの要求がない、といった市民は正直今手を出せる余力がない（将来のためにも今支援すべきとは理解しているが）。

### ●津山市、勝央町

| 項目<br>市町村における子若協議会の設置促進又は機能強化にあたって都道府県への要望・意見               |                                                                                                                                              |
|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 津山市                                                         | ・他地方公共団体や県内の NPO と顔を合わせる機会を設けてくれており、オンライン形式での参加も含めて、引き続き実施していただきたい。また、県青少年総合相談センターの研修のご案内も引き続きお願いしたい。                                        |
| 勝央町                                                         | ・現在、岡山県が子若協議会設置済み地域の情報交換会を開催されている。興味のある市町村もオブザーバー参加できる仕組み。設置促進に有効だと思うので、続けてほしい。<br>・スーパーバイズや臨床心理士など専門家の派遣をして、支援者へのアドバイスやケース検討などの支援をしてほしい。    |
| 項目<br>市町村における子若協議会の設置促進又は機能強化に当たって国への要望・意見                  |                                                                                                                                              |
| 津山市                                                         | ・相談員対象の研修会を開催していただき参考になった。                                                                                                                   |
| 勝央町                                                         | ・平成 24 年度・25 年度に、内閣府の「子ども・若者支援地域協議会の設置モデル事業」を受託したが、伴走型事業だったからこそ、子若協議会設置ができた。この事業を続けてほしい。<br>・相談員や専門的アドバイザー等の人件費や、居場所や相談室を新設するための経費負担をお願いしたい。 |
| 項目<br>（子若協議会を設置済の場合）他の市町村（県内・県外問わず）に設置済の子若協議会との情報交換の有無やその内容 |                                                                                                                                              |
| 津山市                                                         | ・岡山県が機会を提供してくれる。架空事例を検討したことがある。                                                                                                              |
| 勝央町                                                         | ・他県や他市町村の担当と交流する機会があれば、心の面で支えてもらった                                                                                                           |

|  |                                                                                |
|--|--------------------------------------------------------------------------------|
|  | 経験もあるし、地方公共団体規模が違って自分の地方公共団体に置き換えて参考にできるものもあり、施策や体制、業務内容、成功例や課題などの情報交換は有効だと思う。 |
|--|--------------------------------------------------------------------------------|

●岡山県、津山市、勝央町

| 項目<br>子若協議会の設置に当たって「スムーズに立ち上げるためにあらかじめ準備・工夫・留意した点」又は「苦労した点、つまづいた点、その他反省点や気づいた点」 |                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 岡山県                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県は、地域若者サポートステーション事業実施に伴い平成 18 年度に設立された「おかやま若者自立支援ネットワーク」を参考に構成団体を組織して設立。</li> <li>・あまり実質的な連携体制になっていない(とりあえず関連する機関を全て取り込んだ形)。小さく作って、必要に応じて大きくする方がよかったと感じている(参加しない機関がいくつかある)。</li> </ul> |
| 津山市                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内関係課の調整に苦慮した。</li> </ul>                                                                                                                                                              |
| 勝央町                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各所での子若協議会設置についての事前説明にかなりの時間を掛けて理解を促した。</li> </ul>                                                                                                                                      |
| 項目<br>子若協議会の運営に当たり現在苦労している点(今後の課題)                                              |                                                                                                                                                                                                                                |
| 岡山県                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成団体が 54 団体と非常に多い。実務者会議も年 1 回の義務的な開催となっている。構成団体の再考や福祉部局との連携が必要と感じている。</li> </ul>                                                                                                       |
| 津山市                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 2 年度は、ひきこもりの実態把握調査の実施に向けて準備をしてきたが、調査員の確保が課題となって頓挫している。</li> </ul>                                                                                                                   |
| 勝央町                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(上記 にも言えるが) 代表者会議や実務者会で、委員が「出席してよかった」と思っていたような実りのある会議にするため、報告できる実績を作ったり、研修内容を工夫することに苦労している(苦労した)。</li> </ul>                                                                           |
| 項目<br>子若協議会発足の経緯(子若協議会立ち上げまでのプロセス)                                              |                                                                                                                                                                                                                                |
| 岡山県                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子若法成立を受けて設置。作らないといけないから既存のネットワークを模して作った印象。</li> </ul>                                                                                                                                  |
| 津山市                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度に津山市子ども・若者支援庁内推進会議を設置し、平成 30 年度に子若協議会を設置した。</li> </ul>                                                                                                                         |
| 勝央町                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 22 年当時、町内唯一の中学校不登校出現率が 4.85% (15 / 309 人中)</li> </ul>                                                                                                                               |

|                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                      | であったため、不登校を無くすことが当時の課題。その時、県が県内市町村にネットワーク構築を試みて説明訪問を行っていたことと合致し、不登校撲滅を目的に子若協議会設立を視野に入れた子ども・若者支援に乗り出した。                                                                                                                                                                                   |
| <b>項目</b><br><b>子若協議会の運営状況（子若協議会立ち上がり後の状態（人材面、予算面、活用している国・都道府県の助成事業等））、開催状況（代表者会議・実務者会議・個別ケース検討会のそれぞれの開催実績やその内容）</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 岡山県                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者会議は、設立時及び平成 30 年度設置要綱改正の際の 2 回開催。実務者会議は年 1 回(研修会も併せて)開催。</li> <li>・平成 23～28 年度は支援機関マップ作成、実務者会議開催のみ。平成 29 年度から子若センターに中退者支援のための専任コーディネーター配置。ネットワーク事業以外の助成事業活用なし。)。令和 3 年度より支援機関マップ作成予算なし。</li> </ul>                                            |
| 津山市                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置に際して非常勤嘱託職員 1 名の業務内容を変更して相談担当者を設けた。設置翌々年度から相談担当者を 1 名増員して合計 2 名とした。平成 31 年度から岡山県の「公民館等を活用した夜間学び直し推進事業」を活用している。令和 2 年度に実施した「ひきこもりの理解と支援のためのシンポジウム」は一般財団法人自治総合センターから助成の見込みである。代表者会議は平成 31 年度の設立時の会議にとどまっている。実務者会議は個別ケース検討会を兼ねて実施している。</li> </ul> |
| 勝央町                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子若協議会に係る予算は単町費。訪問型家庭教育支援チームの活動経費は、国・県から補助をいただける「おかやま子ども応援事業」を活用。</li> <li>・代表者会は年 1 回程度、実務者会は必要に応じて個別ケース検討会と兼ねる（実務者会でのケース検討はこれまで未実施）。</li> </ul>                                                                                                 |
| <b>項目</b><br><b>支援の実例</b>                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 岡山県                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・専任ケアコーディネーターが支援するケースについて、個々に繋ぐ場合はあり(ケース会議を開催して繋ぐ場合は少ない)。地域若者サポートステーションや民間の支援機関など。</li> </ul>                                                                                                                                                     |
| 津山市                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・( 実例 1 ) 本市の要保護児童支援地域協議会の対象児童であった者が 18 歳到達により支援終結となるのを引き継いで、金銭管理や就労に関する支援を継続している。</li> <li>( 実例 2 ) 地域包括支援センターから保健師を経由して紹介を受け、自立相</li> </ul>                                                                                                     |

|                                                                |                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                | <p>談支援センターと協働して就労準備を進めている。</p>                                                                                                                                                          |
| 勝央町                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問、電話、面接相談の実施。</li> <li>・ 若者の会を実施。</li> <li>・ はくぐみサポーターの活用。</li> <li>・ ユースアドバイザー修了者を活用した相談サポーターの採用。</li> <li>・ 家庭教育支援チームによる訪問型支援 など</li> </ul> |
| <b>項目</b><br><b>子若協議会の構成機関の状況</b>                              |                                                                                                                                                                                         |
| 岡山県                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 54 機関。民間支援機関は、ひきこもり関係や若者自立支援関係の事業を受託している団体に限っている（明文なし。課内の取り決め）。</li> </ul>                                                                     |
| 津山市                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市を含めて、行政、教育、福祉、保健医療、更生保護、雇用の関係機関 18 団体で構成している。</li> </ul>                                                                                     |
| 勝央町                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内外の関係機関、庁舎内の関係部署 24 機関で構成。</li> </ul>                                                                                                         |
| <b>項目</b><br><b>子若法 21 条に規定する支援調整機関及び同法 22 条に規定する指定支援機関の状況</b> |                                                                                                                                                                                         |
| 岡山県                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定機関はない。</li> </ul>                                                                                                                            |
| 津山市                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子若法 21 条に規定する支援調整機関は津山市青少年育成センター、同法 22 条に規定する指定支援機関は指定していない。</li> </ul>                                                                        |
| 勝央町                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援調整機関、指定支援機関はなし。</li> </ul>                                                                                                                   |
| <b>項目</b><br><b>構成機関間における情報共有・連携に係る工夫</b>                      |                                                                                                                                                                                         |
| 岡山県                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>                                                                                                                               |
| 津山市                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO 法人については、活動場所を視察したり定例会の様子を見せていただくなどして情報収集に努め、適切な連携ができるようにしている。</li> </ul>                                                                   |
| <b>項目</b><br><b>相談員等の人材養成（育成）に係る工夫</b>                         |                                                                                                                                                                                         |
| 岡山県                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子若センター内で研修を実施するほか、県内の研修にも適宜参加。</li> </ul>                                                                                                      |
| 津山市                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国・県など他機関が主催する研修会に積極的に参加するほか、庁内の各種相談窓口が一堂に会する場に出向き社会資源の開拓に努めている。</li> </ul>                                                                     |
| 勝央町                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談員や専門的な人材が欲しいが、適任者がいないことが課題。</li> </ul>                                                                                                       |
| <b>項目</b><br><b>子若協議会の周知（広報）に係る工夫</b>                          |                                                                                                                                                                                         |
| 岡山県                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援機関マップの作成及び県内全学校 5 部配付。ただし、令和 2 年度で終</li> </ul>                                                                                               |

|                                                            |                                                                                             |
|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                            | 了。                                                                                          |
| 津山市                                                        | ・「子ども・若者支援機関リスト」を作成して中学高校や関係機関に配付するとともに、本市公式ウェブサイトに掲載している。                                  |
| 勝央町                                                        | ・特別なことをした際には、地方紙や町の広報紙での周知をしている。                                                            |
| <b>項目</b><br><b>児童福祉法第 25 条の 2 に規定する要保護児童対策地域協議会との連携状況</b> |                                                                                             |
| 岡山県                                                        | ・特になし。                                                                                      |
| 津山市                                                        | ・対象児童が 18 歳に到達する前後に、必要に応じて引き継ぎを受ける。                                                         |
| 勝央町                                                        | ・連携できていない。                                                                                  |
| <b>項目</b><br><b>支援に関するマニュアル等の整備状況</b>                      |                                                                                             |
| 岡山県                                                        | ・特になし。                                                                                      |
| 津山市                                                        | ・相談受付票や実績の取りまとめなどの様式について工夫はしてきているが、マニュアルはない。                                                |
| 勝央町                                                        | ・なし。現状は、相談員の経験と判断に頼るところが大きい。                                                                |
| <b>項目</b><br><b>新型コロナウイルス感染拡大等に係る子若協議会・センターの対応</b>         |                                                                                             |
| 岡山県                                                        | ・子若協議会は研修会のみ開催。子若センターは、4 月中、面接相談を中止したが、緊急事態宣言解除に伴い通常に戻った。令和 3 年度に SNS 相談を試行予定。              |
| 津山市                                                        | ・特別な対応はしていない。                                                                               |
| 勝央町                                                        | ・町対策本部の意向に従い、相談室の開所制限を行った。<br>・開所に当たっては、検温、手指消毒、換気、間隔を空ける等の対策や、活動も三密を避けたものや食事を避ける等の対応をしている。 |
| <b>項目</b><br><b>40 歳以上の困難を有する者（ひきこもり等）を支援する機関との連携状況</b>    |                                                                                             |
| 岡山県                                                        | ・今までのケースで 40 歳以上になった方がおらず、実績はないが、今後そのような方がおられた場合は、住所地の市町村、ひきこもり支援センターや保健所に引き継ぐことになると想定される。  |
| 津山市                                                        | ・原則として初回面談は年齢にかかわらず実施し、内容に応じて関係機関と連携する。                                                     |
| 勝央町                                                        | ・連携はしていないが、40 歳以上の相談があった場合は、受けている。                                                          |

## ( 2 ) 第 2 回ヒアリング

調査対象地方公共団体

岩手県、盛岡市

日時等

令和 3 年 3 月 10 日 ( 水 ) 10 時 ~ 12 時      オンライン形式

出席者

( 地方公共団体 )

- ・ 岩手県環境生活部若者女性協働推進室
- ・ 盛岡市子ども未来部子ども青少年課

( 有識者 )      敬称略

- ・ 合同会社 Co-Work-A 代表社員、特定非営利活動法人育て上げネットパートナー等  
田中 成幸

( 内閣府 )

- ・ 政策統括官 ( 政策調整担当 ) 付参事官 ( 青少年支援担当 ) 付

ヒアリング項目 :

### ● 岩手県

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>項目</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>管下市町村への子若協議会の設置推進に向けて都道府県が現在行っている取組・工夫</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 毎年 4 月実施の「市町村青少年育成担当課長会議」にて、県の子若協議会 ( 子若自立支援ネットワーク会議 ) の取組を報告。また、この会議における事前調査にて、子若協議会の設置について、設置に向けた動きの有無や、設置予定がない場合の理由等を報告してもらったこととして、現状把握に努めている。また、設置が努力義務であることを確認している。      令和 2 年度は書面開催</li><li>・ 指定支援機関が主体となって年間 4 回実施している研修「社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー」を市町村の担当課へも通知し、参加を促している。その研修において、県の子若自立支援ネットワーク会議の取組等を説明する機会を設けている。</li></ul> |
| <b>項目</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>管下市町村での子若協議会の設置促進に当たっての国への要望・意見</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 子若協議会について、子どもや若者の支援についても想定しているものであれば、既存のネットワークや協議会を子若協議会とすることが可能になるようにすること。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県で開催する「市町村青少年行政担当課長会議」において、全国の子若協議会設置の様子を説明したり、設置までの事例などを説明したりする方の派遣をすること。</li> </ul>                                                                                                                                                                     |
| <b>項目</b><br><b>他の都道府県の子若協議会との情報交換の有無やその内容</b>                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の子若協議会を設置する際に、他県の既存の子若協議会について、情報提供いただいた。</li> <li>・東北・北海道の7道県で構成される「東北・北海道青少年行政主管課長会議」において、各道県の子若協議会についての取組概要や課題点などを情報交換した（平成29年度）。情報交換の中では、都道府県単位での子若協議会は、「個別支援の協議は難しく、各機関の情報交換と連携強化が主眼となっていること」、「各機関同士の顔の見える関係づくりについては一定の成果があると感じている」という共通認識。</li> </ul> |
| <b>項目</b><br><b>子若協議会設置に関心が薄い管下市町村があるとするなら、その理由や障害は何があると考えるか</b>                                                                                                                                                                                                                                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の担当課の認識を深めてもらうために県でできる対策としては、県の子若協議会の取組状況の周知や「設置努力義務」についてのもっと積極的な周知などが必要と感じている。</li> <li>・「ひきこもり」や「生活困窮」などの支援のための別のネットワークや子若協議会が複数存在していて、構成メンバーも重複するなどしている。または、新たな組織をつくるには、人的に無理がある（既存の組織を子供・若者の支援の要素も組み込んだものにするのができればよいと考える）。</li> </ul>                 |

## ●盛岡市

|                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>項目</b><br><b>市町村における子若協議会の設置促進又は機能強化に当たって都道府県への要望・意見</b>                                                                                                                                                                                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の本県の担当の方は、会議等で質問した際の回答も的確で、制度を熟知されており、本市では信頼を置いている。市町村の機能強化に当たっては、県のバックアップは必須と考えており、そのためには、冒頭述べた関係性、信頼、適切な助言という点は欠かせないところ。県は市町村に比べて人事異動のスパンが短く、大変とは思いますが、担当者が変わっても安定した関係性が築けるようお願いしたい。</li> </ul> |
| <b>項目</b><br><b>市町村における子若協議会の設置促進又は機能強化に当たって国への要望・意見</b>                                                                                                                                                                                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市が子若協議会設置に至らないのは、既に似たような機能を持つ協議会等が存在しており、必要性に欠けるという理由が挙げられる。当課が関係するものだけでも、要保護</li> </ul>                                                                                                           |

児童対策地域協議会、青少年問題協議会、多機関の協働による包括的支援体制構築事業や生活困窮者自立支援制度に基づくネットワーク会議、その他教育委員会所管の会議もあり、それぞれ対象者も構成機関も重なり合っている。子若協議会の設置促進に当たっては、地方公共団体において設置が進まない理由の根底に何があるのか、国においてしっかり分析していただきたい。似たような機能を持つ協議会等を多く並べるのではなく、担当省庁を越えて仕組みを整理していただければ、地方公共団体においても、メリットとデメリット整理した上で必要な協議会等の設置を選択できると感じる。

それぞれの省庁において整備されている協議会等は、当然に種々異なる点があるものだが、目指すべき方向は同じで、課題の切り口の相違によるものも多く存在していると感じる。ご担当によっては、地方公共団体に合った選択をしていただきたいという言い方をされることもあるが、そもそも国において乱立する協議会、ネットワーク会議の整理がついていない状況で、「努力義務」や「必置」という強いトーンで地方に設置を促すのであれば、地方地方公共団体には形骸化した協議会等が増えるだけであり、本来目指すべきはずの「当事者の課題解決のための仕組み作り」とはかけ離れてしまうのではないかなと思う。

#### 項目

（子若協議会を設置済の場合）他の市町村（県内・県外問わず）に設置済の子若協議会との情報交換の有無やその内容

・（子若協議会未設置ではあるが、）関東で開催された要保護児童対策地域協議会の担当職員研修の際、若者困難を有する子供・若者の支援体制について、研修参加していた他の地方公共団体と情報交換をした際、18歳以降までの継続した支援の必要性は強く認識しているが、その体制構築は未着手、または手薄であるという意見が多く聞かれ、既存の協議会との機能の重複が理由に挙げられた。

### ●岩手県、盛岡市

#### 項目

子若協議会の設置に当たって「スムーズに立ち上げるためにあらかじめ準備・工夫・留意した点」又は「苦労した点、つまづいた点、その他反省点や気づいた点」

岩手県

設置当時の担当者からの聞取りを基に要旨作成

- ・先進県（子若協議会設置済み）から、設置要綱等の資料を提供いただくとともに、設置時の様子について個別に聞き取るなどの情報収集をしたことや、先進地視察をしたこと。
- ・構成員に想定する機関への趣旨説明と同意を得ること。
- ・先進県の設置状況を基に、本県にふさわしい構成機関の在り方を関係機関と協

|                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                              | <p>議してすり合わせること(但し、この一連の作業が、関係機関との連携に役立った)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子若協議会設置と並行して、指定支援機関や子若センターの整備を実施した。それぞれの機能の在り方を調整すること(新たな機関、新たな相談センターの設置は難しいとの判断から、既存の機関、子若センターを指定したが、それゆえ、新たな機能として必要なことを整理することが大変)。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                              |
| 盛岡市                                                          | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <b>項目</b><br><b>子若協議会の運営に当たり現在苦労している点(今後の課題)</b>             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 岩手県                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全県的な組織のため、個別の支援をするに至っていない。そのため、構成機関同士のネットワーク形成を主眼としているが、参集する機会の確保が難しい。(各機関の業務、他の協議会重複等)</li> <li>・市町村の担当者へのスキルアップや子若協議会についての理解促進のため、研修会(年4回)には、市町村の関係者(相談支援担当者等)を広く募る必要がある。広い岩手県から参集するための旅費支給や講師招へいの費用の工面に苦労している。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                |
| 盛岡市                                                          | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <b>項目</b><br><b>子若協議会発足の経緯(子若協議会立ち上げまでのプロセス)</b>             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 岩手県                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニート、ひきこもり、不登校など、社会とのコミュニケーションをうまく取れないなどの理由から、就学や就業のいずれもできず、社会生活を円滑に営む上での困難を有する青少年の問題は、本県においても深刻化してきていること。</li> <li>・本県では、青少年の健全育成の拠点施設として、平成18年に青少年活動交流センターを設置するとともに、行政機関や民間団体等と連携した取組を実施してきたところであるが、困難を抱える青少年の課題に適切に対応するために、関係機関の連携体制を構築し、顔の見える関係を築きながら支援を充実させる必要があること。</li> <li>・そのような中で、平成26～27年度に内閣府の「子ども・若者支援地域協議会促進事業」にて、「いわて子ども・若者育成支援マップ」を作成し、県内に周知しながら、関係機関の連携体制の構築を進めてきた。さらに、子若協議会の設置により、情報交換、情報共有、顔の見える関係作りを進めることとした。</li> </ul> |
| 盛岡市                                                          | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <b>項目</b><br><b>子若協議会の運営状況(子若協議会立ち上がり後の状態(人材面、予算面、活用している</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 国・都道府県の助成事業等)) 開催状況(代表者会議・実務者会議・個別ケース検討会のそれぞれの開催実績やその内容)       |                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 岩手県                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の開催、研修会の開催、支援体制構築のための相談機関リストの作成をしている。</li> <li>・会議は年1回のペースで実施。代表者会議で、主に情報交換。</li> <li>・研修会は年間4回実施することとしている。</li> <li>・会議の旅費等は支給なし。相談機関リスト作成も手作り。</li> </ul>                                           |
| 盛岡市                                                            | —                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>項目</b><br><b>支援の実例</b>                                      |                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 岩手県                                                            | ・これまでない(具体事案についての支援は行っていない)。                                                                                                                                                                                                                    |
| 盛岡市                                                            | —                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>項目</b><br><b>子若協議会の構成機関の状況</b>                              |                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 岩手県                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育」「福祉・保健・医療」「雇用」「矯正・更生保護」「民間支援団体」から、18の機関で構成。</li> <li>・令和元年に子若支援施策と生活困窮者自立支援制度との連携のため、県の担当課「地域福祉課」も構成機関に加えた。</li> </ul>                                                                              |
| 盛岡市                                                            | —                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>項目</b><br><b>子若法 21 条に規定する支援調整機関及び同法 22 条に規定する指定支援機関の状況</b> |                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 岩手県                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援調整機関は環境生活部若者女性協働推進室。会議の招集をその室長(座長)が招集する。</li> <li>・指定支援機関は、(公社)岩手県青少年育成県民会議。構成機関が行う支援の充実を図るため、人材育成及び交流を目的とした研修会を実施(年4回のセミナー)。</li> </ul>                                                              |
| 盛岡市                                                            | —                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>項目</b><br><b>構成機関間における情報共有・連携に係る工夫</b>                      |                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 岩手県                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関での連携は見られると思うが、具体的には把握していない。把握に努めるために、相談対応機関リストにおいて、連携事例を挙げるようにしている。</li> <li>・リストにより、相談機関の接続がなされるようにしている。</li> <li>・必要に応じて、関連する構成機関のみでの会合を開いている(生活困窮者自立支援制度と子若施策連携のため、社会福祉協議会と地域若者サポートステー</li> </ul> |

|                                                        |                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                        | ション、指定支援機関での勉強会と情報交換など)                                                                                                                                                      |
| 盛岡市                                                    | —                                                                                                                                                                            |
| <b>項目</b><br><b>相談員等の人材養成（育成）に係る工夫</b>                 |                                                                                                                                                                              |
| 岩手県                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定支援機関による研修会は、人材育成を主たる目的として実施している。</li> <li>・会合、中央研修の周知、参加促進を事務局で行っている。</li> </ul>                                                   |
| 盛岡市                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・OJTのほか、各機関で開催される研修会に積極的に参加できるようにしている。また、相談員の入れ替わりが激しいとスキルアップの妨げになることから、継続雇用できるよう、相談員がバーンアウトしないためのスーパーバイズの体制がとれるように留意している。</li> </ul> |
| <b>項目</b><br><b>子若協議会の周知（広報）に係る工夫</b>                  |                                                                                                                                                                              |
| 岩手県                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県のHPに会議の概要、設置要綱を公表している。</li> <li>・各機関の相談窓口の周知に関しては、機関ごとに行っている。子若センターのチラシも作成している。</li> </ul>                                          |
| 盛岡市                                                    | —                                                                                                                                                                            |
| <b>項目</b><br><b>児童福祉法第25条の2に規定する要保護児童対策地域協議会との連携状況</b> |                                                                                                                                                                              |
| 岩手県                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子若地域協議会事務局の担当室は要保護児童対策地域協議会の構成機関になっていない。</li> <li>・情報共有等はない。</li> </ul>                                                              |
| 盛岡市                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では要保護児童対策地域協議会の調整機関は「子ども家庭総合支援センター」(児童福祉法第10条の2に規定される拠点)が担っているが、同じ部署内に青少年相談員、女性相談員も配置されているため、それらの連携は非常にスムーズである。</li> </ul>         |
| <b>項目</b><br><b>支援に関するマニュアル等の整備状況</b>                  |                                                                                                                                                                              |
| 岩手県                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援を実施していないので、マニュアルはない。</li> <li>・全機関共通で共有しているのは「相談機関リスト」。</li> <li>・総合相談センターにおいては、個人情報の取り扱いなどの取決めをしている。</li> </ul>                 |
| 盛岡市                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童対策地域協議会担当は整備済み。青少年相談、女性相談は整備していない。</li> </ul>                                                                                   |
| <b>項目</b><br><b>新型コロナウイルス感染拡大等に係る子若協議会・子若センターの対応</b>   |                                                                                                                                                                              |

|                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 岩手県                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子若協議会は、これまでどおり年 1 回の会議を開催し、情報交換をした( コロナ対策をしての実施。)</li> <li>・研修会(セミナー)もコロナ対策をしての実施。オンライン参加などあり。</li> <li>・総合相談センターでは、緊急事態宣言下では、来所相談を一時休止した。電話・メール相談は通常どおり受け付けていた。</li> <li>・各構成機関の相談業務においては、来所相談一時休止、オンライン相談の実施などで対応しているとのことである。</li> </ul> |
| 盛岡市                                                     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <b>項目</b><br><b>40 歳以上の困難を有する者(ひきこもり等)を支援する機関との連携状況</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 岩手県                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県ひきこもり支援センターも総合相談センターとして指定している(相談機関同士での接続等がなされている)</li> <li>・就職氷河期世代支援を実施している機関も子若協議会の構成機関(岩手労働局、若サポ、定住推進・雇用労働室)となっている。令和元年度の会議では、国の就職氷河期世代支援施策について議題に取り上げた(情報提供:岩手労働局)</li> </ul>                                                       |
| 盛岡市                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では、子供・若者支援団体で構成する「もりおかユースネット」というネットワーク組織を作っており、活動内容や相談窓口をガイドブックにまとめ(毎年更新)構成団体に配布し活動に活用してもらうほか、メールで相互の情報発信と情報共有を行っている。</li> </ul>                                                                                                         |

